

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募A】  
領域：「アート DX」  
対象：在学生または 2021 年 3 月以降に本学を卒業・修了した者)

## 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026 (芸術未来研究場 共同研究企画公募事業)

# 募集要項 A

※この募集枠は、2026 年 4 月 1 日時点における本学の在学生および 2021 年 3 月以降に本学を卒業・修了した者を対象としています。その他の枠は下表をご参照ください。

### 「I LOVE YOU」プロジェクト 2026 募集枠一覧

	企画募集を行う領域・テーマ	申請資格・対象(※)
要項 A (本紙)	[1]アート DX トヨクモ(株)との連携枠	在学生 2021 年 3 月以降の卒業・修了生
要項 B	[2]ケア&コミュニケーション ART 共創拠点との連携枠	在学生 在籍教員/研究者
要項 C	[3]キュレーション (株)みずほフィナンシャルグループとの連携枠	卒業・修了生(40 歳以下)
要項 D	[4]エンターテインメント×社会課題解決 (株)サイバーエージェントとの連携枠	在学生 2021 年 3 月以降の卒業・修了生
要項 E	[5]紛争・分断の時代におけるアートの役割と可能性 ゴールドマン・サックス・ギブズとの連携枠	在学生 卒業・修了生
要項 F	[6]TOKYO WELL CITY 三菱地所(株)との連携枠	在学生、卒業・修了生 在籍教員/研究者

※詳細はそれぞれの募集要項を必ず確認してください。

※申請資格を満たしていれば、領域・テーマごとに 1 人 1 件まで申請可能です。

**申請締切：2026 年 5 月 13 日(水)17 時**  
**本要項の助成総額(予定)：300 万円**

※本助成は、トヨクモ株式会社様からのご寄附により行われます。



Tokyo Geidai  
Art DX



トヨクモ

2026 年 3 月 19 日 東京藝術大学 芸術未来研究場 アート DX 領域

## 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募A】

領域：「アート DX」

対象：在学生または 2021 年 3 月以降に本学を卒業・修了した者)

### 1 趣旨・目的

東京藝術大学は、「世界を変える創造の源泉」として、芸術が持つ無限の可能性を社会に向けて伝え、実践によって示すため、2019 年度より企画公募事業『東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト』を展開しています(アート DX の公募においてこれまでに採択・実施された企画のアーカイブ等を Web サイトに掲載しています：<https://artdx.geidai.ac.jp/>)

また本学は、2023 年 4 月に「芸術未来研究場」を創設しました。本研究場は、多様性を認め合える社会の実現に向け、「アートは人が生きる力である」という確信及び「人の心」への眼差しを根幹として、新たな価値の創造や社会的課題の解決に係る実験と実践を重ねることを通じ、人類と地球のあるべき姿を探究することを目的としています。

この度、「I LOVE YOU」プロジェクト 2026 を、「芸術未来研究場が主催する共同研究企画公募事業」として実施し、本公募枠では、トヨコム株式会社との連携により、「アートを介してデジタル技術の可能性を拡張/再発見し、向かうべき社会の最先端(State-of-the-Art)を塗り変える」ことに挑戦する企画を広く募集します。

### 2 募集する共同研究企画の実施期間

・2026 年 7 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

### 3 申請資格・対象

①2026 年 4 月 1 日時点で本学の正規課程に在学する学生が主催する企画

※研究生等の非正規生や、履修証明プログラムの受講生は対象外です。

※正規課程の学生であっても、休学者は対象外です。

②2021 年 3 月以降に本学を卒業・修了した者が主催する企画

※条件に合致する場合でも、2026 年 4 月 1 日時点で本学に在職する者は対象外です。

※2025 年まで実施していた教員を対象とする公募については、別途行う予定です。

### 4 助成金額、助成対象経費、助成金の使用方法

助成金額 1 件につき 50 万円以内

助成対象経費 消耗品費、印刷費、翻訳費、旅費、業務委託費、通信運搬費、広告宣伝費、使用料/借料(会場費や機材レンタル)、感染症対策費

※飲食費・交際費(手土産代など)はいかなる場合も対象となりません。

※企画申請者(代表者)本人に対して業務委託費や謝礼は支払えません。

助成金の使用方法 採択後、相談会等を経て、事業の実施目途が立った時点から約 1 カ月後に助成金の全額を振込支給します(企画の終了後、領収書や支払明細等の証拠書類を含む報告書の提出をもって精算し、残金がある場合や、事業が実施されていない場合等は、助成金を返金していただきます)。

※採択通知前に発生している経費には助成金を充当できません。

### 5 最終成果物に対する表彰

2027 年 3 月に行われる最終報告・展示において、特に優れた成果を挙げた者に対して、更に研究を深めるための奨励金として 50 万円を授与します (2 名を選出予定)。

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募A】

領域：「アート DX」

対象：在学生または 2021 年 3 月以降に本学を卒業・修了した者

## 6 募集する共同研究企画の要件および分野・形態

※芸術未来研究場の「アート DX」領域において、教員・研究者との「共同研究」となりうる企画を募集します。採択企画には、必要に応じて研究支援者が配置され、企画の実施や研究面での助言/技術的支援を行います。

※採択企画には、各領域が実施する中間／最終成果の発表の場等への参加を求めます。

※要件に合致していれば、美術・音楽・映像等の分野は問いません。

※入場料や参加料等の収入を伴う企画は不可です。

※卒業・修了制作を含む大学の課題等に係る制作・演奏・研究等を内容とする企画は対象外です。

東京藝大アート DX プロジェクトは、デジタル技術や ICT 技術を使って、芸術の価値、ひいてはアートの社会的価値を最大化し、Well-being な社会構築を目指しており、現在は、以下のテーマを中心に研究開発を行っています(<https://artdx.geidai.ac.jp/>)。

**1. Extension**  
最新の技術を駆使し、表現の幅や制作を支える環境を拡張する

**2. Exploration**  
新しいテクノロジーを素材として“あそぶ”ことで、未知なる可能性を探究する

**3. X(Trans)-formation**  
技術の異なる使い方を提示することで、社会が進みゆく未来像に変革をもたらす

Diagram showing a timeline from Past to Future. A solid line labeled 'Now' branches into two paths. One path leads to 'Preferable Future 好ましい未来' (3), and the other leads to 'Future' (1). A dashed line labeled '2' connects the branching point to the 'Future' label.

本公募では、分野を問わず、現在進行形で発展中のデジタル技術を活用した表現や、デジタル技術に対する根源的な問いをもたらす表現の研究企画を募ります。研究内容は作品の制作に限らず、それにつながるようなツールの開発や技法の探究や、作品研究／分析にデータ解析などのデジタル技術を活用するものも受け付けます。

また、アート DX の前身となる東京藝大デジタルツイン (<https://dt.geidai.ac.jp>) の活動の一つとして作られた上野公園のメタバース「デジタル上野の杜」や、アート DX の中心を担っている芸術情報センター (AMC) の技術、機器 (レーザーカッター、3D プリンター、UV プリンター等のデジタルファブリケーション機器や、3D スキャナー、録音配信スタジオ等の設備) を活用するアイデアも歓迎します。

採択後は、7 月頃にキックオフミーティング、11 月と 3 月には全テーマで集まる中間報告会、最終成果展示および Web 掲載・公開用の実施報告を予定しています。

## 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2026【公募A】

領域：「アート DX」

対象：在学生または 2021 年 3 月以降に本学を卒業・修了した者)

### 7 申請締切

・2026 年 5 月 13 日(水) 17:00【時間厳守】

・申請書類データの提出先：[i-love-you@ml.geidai.ac.jp](mailto:i-love-you@ml.geidai.ac.jp) (各種問い合わせも受け付けます)

※申請は 1 人につき 1 件迄です(ひとつの企画について複数人が別々に申請するのも不可)。

※締切時刻までに必要書類一式が事務局で受信できている場合のみを審査対象とします。

### 8 申請に必要な書類

[1]企画書 兼 予算計画書(所定様式：Microsoft® Office Excel および PDF 化したデータ)

[2]コンセプトペーパー(A4 縦 1 枚、PDF データ。企画概要を分かりやすくまとめたもの。

作成方法は手書きを含め自由ですが、提出の際は PDF 化してください)

※[1]の EXCEL データおよび PDF データ、[2]の PDF データの 3 種類の提出が必要

です。※コンセプトペーパーには「企画のタイトル」を必ず記入してください。

※様式の変更やページ数の増減をしないでください。

### 9 審査・選考

・審査および選考は、以下①～④の観点により、東京藝術大学 芸術未来研究場のアート DX 領域の教員・研究者およびトヨクモ社の社員が行います。

①本公募事業の趣旨・目的に合致しており、社会にインパクトを与えることが期待される。

②内容や着眼点に獨創性があり、各芸術分野の特性を踏まえた高度な研究や実践が期待される。

③アート DX 領域が求める企画内容に合致している。

④予算の積算が妥当であり、実施に必要な条件が準備できていると見込まれる。

・審査結果として、採択企画および助成額の一覧を大学 Web サイト等で公表します。

※審査結果は 2026 年 6 月下旬頃に公開・通知予定です。

※申請額よりも助成額を減額して採択する場合があります。

### 10 応募にあたっての注意事項

・在学生が申請する場合、企画実施の「監督者・管理者」として、指導教員の許可を必ず得てください(特に、本企画の実施に係る研究支援者が配置されることについて)。

・企画の一環として展覧会やワークショップ等を行う場合、実施場所等については、申請者が各自で責任をもって確保してください(申請時には未定でも構いません)。

・但し、2026 年の 11 月下旬に、本学の大学美術館において、アート DX 領域を含む「芸術未来研究場」全体を社会に発信する展覧会を開催する予定であり、本公募に係る企画書様式の中に、この展覧会への出展(作品展示やパネル展示等による中間成果物の発表や企画概要の紹介)を希望するかどうかを選択する欄を設けていますので、参加を望む場合はその旨を記載してください(展示等の場所や機会の確保を約束するわけではありませんので、ご注意ください。なお、本展覧会に参加いただくこととなった場合、出展に係る経費は本助成金とは別途大学側で負担します)。

・企画の代表者等には、本プロジェクト主催のイベント等への参加を依頼する場合があります。

・企画書等の内容は本プロジェクトの広報活動に使用させていただく場合があります。

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト2026 (芸術未来研究場 共同研究企画公募事業)

**[公募A] 企画書 兼 予算計画書** (EXCELとPDFの両データを提出してください)

※この様式のほかに、コンセプトペーパー (A4縦1枚・片面、様式任意、PDF) の提出が必要です。

企画のタイトル ※コンセプトペーパーにも必ず記載してください	<b>※企画のタイトルを記入してください</b>	
企画の実施日／期間	西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日	
申請する領域	アートDX	○
企画の概要 (主旨・目的・内容等)  1,000~1,200字程度	本企画の概要について、本公募の趣旨および、「募集要項A」の「6 募集する共同研究企画の要件および分野・形態」に記載しているアートDX領域が求める企画の観点を踏まえて記入してください。 <b>※本企画の主旨・目的・内容等を1,000~1,200字程度で記入してください。</b>	

以下、2ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

研究計画・実施方法  
(日程・場所等を含む)

※本企画について、準備期間も含めたスケジュール・実施場所・実施方法等を記入してください。

2026年11月下旬に予定されている大学美術館での「芸術未来研究場」展への参加希望  
※いずれか1つに「○」を記入してください。

希望する  
希望しない  
どちらとも言えない

※「希望する」または「どちらとも言えない」に「○」を入力した場合、どのような形で参加したいか等の具体的な内容や、こういう条件等であれば参加したいといった希望を本欄に記入してください。

研究支援者に求めるメンタリング内容やサポート内容

※上記の研究計画において、本企画が採択された場合に配置される研究支援者にどのようなサポート等を希望するかを記入してください。

申請代表者

氏名 所属 学年

●● ●● ●●

卒業・修了生の場合：東京藝大に在籍していた時の所属・卒業年月

●●学科 ●●●●年●月卒業

主な学修歴（資格・留学等）・活動実績（展示・公演・研究・受賞等）

※本企画の準備・実施にあたって参考となる（本企画に活かすことができる）これまでの学修歴や経験、過去の活動実績等について記入してください。

【学生が申請者の場合は記入必須】

監督教員

(専任教員による監督が必須です。非常勤講師や教育研究助手は監督教員にはなれません)

氏名 所属 役職

●● ●● ●●学部●●学科 ●●●●

※上欄の記入は、本企画における申請学生および協力者による企画の準備・実施・報告等が、上記教員による監督のもとで行われることを約束するものです(申請書提出前に、必ず上記教員による申請内容のチェックと、申請許可を得てください)。申請書受領後、事務局において、上記教員に事実確認を行う場合があります。

実施協力者  
(主要な協力者のみ記入し、その他の参画者については総括して記入してください)

氏名 所属・学年／役職 本企画における役割

●● ●● ●●学部●●学科・学部●年 ●●●●

●● ●● ●●大学●●学部・学部●年 ●●●●

●●●●地域の方々 ●●名程度 現地協力者

●●●●団体の方々 ●●名程度 インタビュー対象者

以下、3ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

企画全体の予算計画

※飲食費・交際費はいかなる場合も計上できません。 企画申請者(代表者)本人に対する委託費・謝金等の支出は不可です。

区分	摘要	数量	単価(円)	金額(円)
消耗品	(記入例)			
	〇〇材料費	0	0	0
	〇〇展示用品	0	0	0
	関連書籍購入費	0	0	0
		0	0	0
謝金	〇〇撮影・録音謝金	0	0	0
	〇〇のデザイン作成謝金	0	0	0
	〇〇の動画編集謝金	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
旅費	調査のための交通費(〇〇~〇〇往復)	0	0	0
	調査のための宿泊費(〇〇市内)	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
印刷製本費	〇〇〇印刷費	0	0	0
		0	0	0
借料損料	〇〇ホール借料	0	0	0
	〇〇用ソフトウェアライセンス費	0	0	0
		0	0	0
その他	〇〇学会参加費	0	0	0
	〇〇翻訳外注費	0	0	0
	〇〇運搬費	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
計				0
本公募における助成金申請額(※ <b>50万円以内</b> 。必要経費額を超える申請は不可)				0
共催・協賛・後援等 外部団体等の助成金 への申請状況等	※外部団体等と連携した企画や、他団体から助成金等を受ける予定がある場合は、その状況について記入してください。			

以下、4ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

申請代表者の連絡先	メールアドレス	
	電話番号	
事務担当者の連絡先 (助手の方など)	メールアドレス	
	電話番号	
監督教員の連絡先 ※申請者が在学生の場 合、記入必須	メールアドレス	
	電話番号	